

学位論文に係る評価にあたっての基準

【文学研究科 英語コミュニケーション専攻】

審査基準

学位（修士）論文および特定課題研究の審査は文学研究科の学位授与方針に従い、以下の項目について、主査及び副査2名の審査員により審査する。その結果を総合的に判断して適、不適の判定を下す。

審査基準項目

- (1) 研究テーマの適切性：研究目的が明確で、課題設定が適切であること。
- (2) 情報収集の程度：選択されたテーマに関する必要なデータや資史料の収集が適切に行われていること。
- (3) 研究方法の適切性：データ、資史料、作品などの処理・分析・解釈が適切であり、一定の説得力があること。
- (4) 論旨の一貫性：論文全体の構成に整合性があり、論旨が一貫していること。
- (5) 独創性：選択されたテーマについて独創的な結論を提示していること。
- (6) 表現の明快性：文章が確かな表現力によって支えられており、目次・章立て・引用・注・図版等に関して、指定されたフォーマットに従っていること。
- (7) 倫理的配慮：研究計画の立案および遂行、研究成果の発表ならびにデータの保管に関して、適切な倫理的配慮がなされていること。また、学内の倫理規程や研究テーマに関連する学会や団体の倫理基準等を遵守していること。

特定課題の審査基準項目

- (1) 研究テーマの適切性：研究目的が明確で、課題設定が適切であること。研究の一環として必然性をもつ課題であること。
- (2) 情報収集の程度：選択されたテーマに関する必要なデータや資史料の収集が適切に行われていること。適切に課題作品の裏付けとなること。
- (3) 研究方法の適切性：データ、資史料、作品などの処理・分析・解釈が適切であり、一定の説得力があること。
- (4) 独創性：選択されたテーマについて独創性が見られること。
- (5) 研究成果と研究内容の関係を明確に説明すること。
- (6) 倫理的配慮：研究計画の立案および遂行、研究成果の発表ならびにデータの保管に関して、適切な倫理的配慮がなされていること。また、学内の倫理規程や研究テーマに関連する学会や団体の倫理基準を遵守していること。

【生活科学研究科 食物健康科学専攻】

審査基準

学位（修士）論文の審査は、食物健康科学専攻の学位授与方針に従い以下の項目について、主査及び副査2名の審査員により審査する。その結果を総合的に判断して適、不適の判定を下す。

審査基準項目

- (1) 研究の背景、目的や必要性を的確に把握し、設定テーマに妥当性があるか。
- (2) 適切な研究（調査・実験・解析）方法を採用し、遂行されたか。
- (3) 結果に基づいて具体的な分析・考察がなされ、一貫した議論がなされているか。
- (4) 論文の構成、文章表現、図表、先行研究や個々の文献の学術的取り扱い方が適切か。
- (5) 研究成果に新規性がみられ、新しい発見、新しい解釈につながっているか。

【生活科学研究科 心理学専攻】

審査基準

修士論文の審査は、心理学専攻の学位授与方針に従い以下の項目について、主査および副査2名の審査員により審査する。その結果を総合的に判断して適、不適の判定を下す。

審査基準項目

- (1) 研究テーマの適切性：研究の背景、目的や必要性の的確な把握と設定テーマの妥当性。
- (2) 研究方法の適切性：テーマに対する適切な研究方法の採用と遂行。
- (3) 論旨の一貫性：結果に基づいての具体的な分析および考察と一貫した議論。
- (4) 倫理性：情報の収集、論文の構成、文章・図表表現、先行研究をはじめとする各種文献等の取扱い全般における人権の遵守と学術的適切さ。
- (5) 独創性：研究成果の新規性と新たな発見や解釈。

【看護学研究科 看護学専攻】

(1) 修士論文および課題研究の審査について

- 1) 12月の研究科会議で主査（指導教員）1名、副査2名が決定される。
- 2) 主査（指導教員）と副査が論文を査読し、口頭試問での審査を行う。
- 3) 審査結果をもとに、研究科会議において修了判定を行う。

(2) 修士論文および課題研究の審査評価基準

1) 修士論文

論文全体	1. 看護学の発展に貢献する研究である。
	2. 研究内容に独創性がある。
	3. 適切な研究方法を用いることにより、信頼性・妥当性のある結果が得られている。
	4. 論文が論理的に構成され、かつ適切な形式・表現を用いて記述されている。
口述試験	5. 研究内容をわかりやすく説明し、的確な質疑応答ができる。
倫理的配慮	研究の実施において倫理的な問題がない。

2) 研究課題（CNS）

専門看護師 （CNS）に関する口述試験	1. CNSとして取り組むべきであると考えた分野の専門性を説明することができる。
	2. CNSに関する役割について説明できる。 （卓越した実践、教育、相談、調整、研究、倫理）
	3. CNSの役割を果たすために修得した能力について説明することができる。
	4. 今後のCNS資格取得後の活動の方向性について具体的に説明することができる。
課題研究	5. 看護学の発展に貢献する研究である。
	6. 課題解決に向けた先行研究の検討がなされている。
	7. 適切な研究方法を用いることにより、妥当性のある結果が得られている。
	8. 論文が論理的に構成され、かつ適切な形式・表現を用いて記述されている。
	9. 研究内容をわかりやすく説明し、的確な質疑応答ができる。
倫理的配慮	10. 研究の実施において倫理的な問題がない。